

# 出羽優凧

Yuna Dewa

鹿児島大学連合農学研究科 博士課程 1 年  
 鹿児島大学総合研究博物館 魚類分類学研究室  
 Mail: k2533560[a]kadai.jp

【研究テーマ】 ヘビギンポ科魚類の分類学的研究

【所属学会】 日本魚類学会（2019–）  
 日本動物分類学会（2022–）  
 Australian Society for Fish Biology（2023–）  
 American Society of Ichthyologists and Herpetologists（2024–）

【研究論文】 ○は査読あり

2024		
17	○	<a href="#">Dewa, Y.</a> , S. Harazaki and H. Motomura. 2024 (Jan.). <i>Enneapterygius sericus</i> , a new species of triplefin (Perciformes: Tripterygiidae) from the western Pacific Ocean. <i>Ichthyological Research</i> , doi: 10.1007/s10228-023-00945-x (13 pp.; 30 Jan. 2024)
2023		
16	○	<a href="#">Dewa, Y.</a> , S. Tashiro and H. Motomura. 2023 (Nov.). A new species of the genus <i>Enneapterygius</i> (Perciformes: Tripterygiidae) from Japan and the Philippines, with a synopsis and synonymy of related species. <i>Zootaxa</i> , 5374 (3): 333–360. Doi: 10.11646/zootaxa.5374.3.2 (17 Nov. 2023)
15	○	佐藤智水・ <a href="#">出羽優凧</a> ・松岡 翠・出羽慎一・本村浩之. 2023 (May). 大隅諸島硫黄島から得られた北限更新記録を含む同島初記録の魚類 23 種. <i>Ichthy, Natural History of Fishes of Japan</i> , 32: 7–12. Doi: 10.34583/ichthy.32.0_7 (6 May 2023)
14	○	畠中柚菜・ <a href="#">出羽優凧</a> ・本村浩之. 2023 (Apr.). 標本に基づく日本初記録の <i>Monocentris chrysadamas</i> ヤマブキマツカサウオ（新称）. <i>Ichthy, Natural History of Fishes of Japan</i> , 31: 24–30. Doi: 10.34583/ichthy.31.0_24 (12 Apr. 2023)
2022		
13	○	<a href="#">出羽優凧</a> ・望月健太郎・松岡 翠・中村潤平・石原祥太郎・橋本慎太郎・佐藤智水・畠中柚菜・本村浩之. 2022 (Dec.). 大隅諸島黒島から得られた初記録の魚類 86 種. <i>Ichthy, Natural History of Fishes of Japan</i> , 27: 15–31. Doi: 10.34583/ichthy.27.0_15 (8 Dec. 2022)

12	○	<u>出羽優風</u> ・本村浩之. 2022 (Aug.). 東シナ海と土佐湾から得られた国内2例目のベラ科魚類モンイトベラ. タクサ, 53: 48–52. Doi: 10.19004/taxa.53.0_48 (31 Aug. 2022)
11	○	<u>Dewa, Y.</u> and H. Motomura. 2022 (June). Redescription of <i>Enneapterygius erythrosoma</i> Shen 1994 and a synopsis of <i>Enneapterygius similis</i> Fricke 1997, with comments on the taxonomic status of <i>Enneapterygius rubicauda</i> Shen 1994 (Perciformes: Tripterygiidae). Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-022-00871-4 (19 pp.; 28 June 2022), 70 (1): 142–160 (27 Jan. 2023)
10	○	<u>出羽優風</u> ・伊東正英・本村浩之. 2022 (June). 鹿児島県から得られた日本初記録のウツボ科魚類 <i>Gymnothorax pseudoprolatus</i> チャイロウツボ (新称). 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jji.22-008 (24 June 2022), 69 (2): 153–158 (5 Nov. 2022)
9	○	<u>出羽優風</u> ・荒木萌里・山田守彦・本村浩之. 2022 (Apr.). 鹿児島県から得られたヨウジウオ科の稀種ダイダイヨウジ: 伊豆半島西岸と相模湾以外からの初めての記録. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 19: 44–48. Doi: 10.34583/ichthy.19.0_44 (19 Apr. 2022)
2021		
8	○	赤池貴大・藤原恭司・上原航知・松岡 翠・藤井琢磨・ジョン ビョル・松本達也・中川龍一・緒方僚輝・是枝伶旺・古橋龍星・望月健太郎・飯野友香・ <u>出羽優風</u> ・石原祥太郎・本村浩之. 2021 (Oct.). 標本に基づく琉球列島初記録を含む沖永良部島初記録の魚類 66 種, およびサザンプラティフィッシュの島内における新産地とカワアナゴ属の一種の形態学的特徴. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 13: 18–35. Doi: 10.34583/ichthy.13.0_18 (11 Oct. 2021)
7	○	<u>出羽優風</u> ・寺井俊二・本村浩之. 2021 (Sept.). 沖縄諸島の久米島から得られたヘビギンポ科 <i>Ceratobregma helenae</i> ミカンヘビギンポ (新称) の北限記録および本種の日本国内における分布状況. 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jji.21-020 (17 Sept. 2021), 69 (1): 1–6 (25 Apr. 2022)
6	○	<u>出羽優風</u> ・中村潤平・本村浩之. 2021 (Aug.). 草垣群島から得られた標本に基づく鹿児島県初記録のヘリシロウツボ (ウツボ科), および同群島からの既報の魚類リスト. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 11: 21–26. Doi: 10.34583/ichthy.11.0_21 (15 Aug. 2021)
5	○	<u>出羽優風</u> ・前川隆則・本村浩之. 2021 (May). 奄美大島から得られた国内2個体目のベラ科魚類ヒイロモチノウオ. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 8: 5–7. Doi: 10.34583/ichthy.8.0_5 (10 May 2021)
4	○	和田英敏・古橋龍星・山田守彦・藤井琢磨・吉田朋弘・Kunto Wibowo・荒木萌里・伊藤大介・赤池貴大・中川龍一・渋谷駿太・是枝伶旺・ <u>出羽優風</u> ・餅田 樹・本村浩之. 2021 (Apr.). 徳之島初記録の魚類 122 種. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 7: 35–52. Doi: 10.34583/ichthy.7.0_35 (22 Apr. 2021)

3		中川龍一・樋之口蓉子・Kunto Wibowo・ジョン ビヨル・和田英敏・藤原恭司・荒木萌里・望月健太郎・飯野友香・石原祥太郎・小川奈津・出羽優風・本村浩之. 2021 (Mar.). 鹿児島湾北部の霧島市小浜海岸の魚類相. Nature of Kagoshima, 47: 373-379. (23 Mar. 2021)
2020		
2	○	出羽優風・桜井 雄・中村潤平・本村浩之. 2020 (Feb.). 琉球列島から得られたベラ科魚類 <i>Oxycheilinus arenatus</i> ヒイロモチノウオ (新称) および標準和名モチノウオの再検討. 魚類学雑誌, doi: 10.11369/jji.19-049 (17 Feb. 2020), 67 (1): 67-71 (25 Apr. 2020)
1		伊藤大介・平 瑞樹・S. Chungthanawong・K. Wibowo・上城拓也・中村潤平・R. A. Cabebe・荒木萌里・岡本 情・渋谷駿太・堀内大敬・出羽優風・本村浩之. 2020 (Jan.). 鹿児島県いちき串木野市新観音ヶ池の水抜き調査によって得られた魚類相の把握と在来種の保護. Nature of Kagoshima, 46: 275-278. (16 Jan. 2020)

### 【書籍】

2023		
4		出羽優風. 2023 (June). トラギス科, ホカケトラギス科, ベラギンポ科, ワニギス科, イカナゴ科, ミシマオコゼ科, ヘビギンポ科の解説. Pp. 210-213. 学研の図鑑 LIVE 魚 新版. Gakken, 東京. 296 pp. (13 June 2023)
3		出羽優風. 2023 (Mar.). クロコハゼ, ウロハゼ, ビリンゴ, チクゼンハゼ, ヒトミハゼ, マサゴハゼの解説. Pp. 44, 46, 48. 樋之口蓉子・田島奏一朗・是枝伶旺・本村浩之 (編). 錦江湾奥 干潟の生き物図鑑. 特定非営利活動法人くすの木自然館, 始良. 100 pp. (25 Mar. 2023)
2021		
2		Dewa, Y. 2021. <i>Dischistodus fasciatus</i> , <i>D. melanotus</i> , <i>D. perspicillatus</i> . (Pomacentridae). Pp. 46-47. Motomura, H., S. Kimura, Y. G. Seah, S. T. Sheikh Abdul Kadir, and M. A. Ghaffar (eds). Reef and shore fishes of Bidong Island, off east coast of Malay Peninsula. The Kagoshima University Museum, Kagoshima
2020		
1		出羽優風. 2020. コノシロ・アカササノハベラの解説. Pp. 55, 84. 本村浩之・山本智子・田金秀一郎 (編). 鹿児島県北西部 不知火海にそそぐ 高尾野川河口周辺の生きものたち. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島

## 【学会発表】

2023	
6	<u>Dewa, Y. and H. Motomura.</u> 2023 (21 Nov.). Taxonomic review of the triplefin genus <i>Enneapterygius</i> (Tripterygiidae) in Japanese waters. 11th Indo-Pacific Fish Conference (IPFC) and Annual Conference of the Australian Society for Fish Biology. University of Auckland, Auckland. Poster.
5	<u>出羽優凧・本村浩之.</u> 南日本から確認されたセグロヘビギンポ類似種群の2未記載種. 2023年度日本魚類学会年会, 長崎市. ポスター発表, 発表番号95.
4	日比野友亮・ <u>出羽優凧.</u> 国内で記録されてきたタケウツボ属魚類の整理および日本初記録の <i>Strophidon dorsalis</i> (Seale, 1917) (ウナギ目ウツボ科). 2023年度日本魚類学会年会, 長崎市. ポスター発表, 発表番号82.
2022	
3	<u>出羽優凧・本村浩之.</u> 琉球列島と台湾から得られたヘビギンポ属の1未記載種. 2022年度日本魚類学会年会 (オンライン参加). ポスター発表, 発表番号130.
2021	
2	<u>出羽優凧・本村浩之.</u> <i>Enneapterygius rubicauda</i> Shen, 1994 の新参異名とされていた <i>Enneapterygius erythrosoma</i> Shen, 1994 の有効性 (ヘビギンポ科). 2021年度日本魚類学会年会 (ウェブ大会). ポスター発表, 発表番号52.
2019	
1	<u>出羽優凧・桜井 雄・中村潤平・本村浩之.</u> 沖縄県から得られた標本に基づく日本初記録のベラ科魚類 <i>Oxycheilinus arenatus</i> . 2019年度日本魚類学会年会, 高知市. ポスター発表, 発表番号97.

## 【報道・メディア関係】

2024	
5	新種「テンテンヘビギンポ」 鹿大などのチーム確認. 南日本新聞, 2024年2月27日
2022	
4	命名「チャイロウツボ」 鹿大など国内初確認. 南日本新聞, 2022年7月6日
3	「チャイロウツボ」と命名 13年前に国内初発見のウツボ. NHK 鹿児島. 2022年7月5日, 18:00-
2020	
2	日本初記録の魚種を特定 鹿児島市の大学生. 読売新聞, 2020年3月12日
1	和名「ヒイロモチノウオ」 鹿大チームが国内初標本 水産学部1年・出羽さん命名. 南日本新聞, 2020年2月25日

【調査等の記録】

2023	
12月8-14日	ノーザンテリトリー博物館（NTM）にて標本調査
11月6日- 12月7日	オーストラリア博物館（AMS）にて標本調査
10月26-27日	フィールド自然史博物館（FMNH）にて標本調査
10月19-25日	スミソニアン自然史博物館（USNM）にて標本調査
10月17-18日	フィラデルフィア自然科学アカデミー（ANSP）にて標本調査
10月15-16日	スミソニアン自然史博物館（USNM）にて標本調査
10月12-14日	カリフォルニア科学アカデミー（CAS）にて標本調査
9月18-26日	クアantan（マレーシア）にて魚類調査
9月8-10日	鹿児島県諏訪之瀬島にて魚類相調査
9月6日	鹿児島県出水市にて田んぼの水生生物調査
8月25-27日	鹿児島県平島にて魚類相調査
7月2-4日	鹿児島県竹島にて魚類相調査
5月19-23日	鹿児島県屋久島にて魚類相調査
4月10-11日	鹿児島県長島にて魚類相調査
3月16-17日	鹿児島県長島にて魚類相調査
1月6-9日	鹿児島県硫黄島にて魚類相調査
2022	
11月2-6日	鹿児島県奄美大島・加計呂麻島にて魚類相調査
10月14-16日	鹿児島県黒島（南星丸）にて魚類相調査
10月9日	鹿児島県重富海岸にて魚類相調査
7月2-3日	鹿児島湾にて魚類相調査
6月16日	鹿児島県草垣群島にて魚類相調査
6月13-14日	国立科学博物館つくばセンター（NSMT）にて標本調査
6月8-12日	東京都八丈島にて魚類相調査
4月27-29日	鹿児島県竹島（南星丸）にて魚類相調査
3月17日	鹿児島湾にて魚類相調査
2月22日	鹿児島湾にて魚類相調査
1月29日	鹿児島湾にて魚類相調査
2021	
10月4日	鹿児島湾にて魚類相調査
9月29日	鹿児島湾湾口部にてドレッジ
8月19-25日	鹿児島県沖永良部島にて魚類相調査
8月10日	鹿児島湾にて魚類相調査
7月4日	鹿児島湾にて魚類相調査
6月24日	鹿児島湾にて魚類相調査
3月30日	鹿児島湾にて魚類相調査

3月23日	鹿児島湾にて魚類相調査
3月14日	鹿児島県霧島市小浜海岸にて魚類相調査
2020	
6月28日- 7月4日	鹿児島県徳之島にて魚類相調査
2019	
10月18日	いちき串木野市観音ヶ池にて魚類相調査

#### 【助成金・支援金】

2023	
2	2023-2024 Australian Museum Research Institute Visiting Collection Fellowship オーストラリア博物館にて標本調査 約 3000 ドル
1	2023 年度笹川科学研究助成 (2023-4104) 「インド・西太平洋の温帯から熱帯域に生息するヘビギンポ属魚類の多様性評価」約 97 万円

#### 【賞与等】

2019	
1	2019 年度日本魚類学会年会優秀ポスター発表賞 「沖縄県から得られた標本に基づく日本初記録のベラ科魚類 <i>Oxycheilinus arenatus</i> 」

【発表した日本初記録種】



ヒイロモチノウオ *Oxycheilinus arenatus*  
【研究論文】業績番号 2



ミカンヘビギンポ *Ceratobregma helenae*  
【研究論文】業績番号 7



チャイロウツボ *Gymnothorax pseudoprolatus*  
【研究論文】業績番号 10



スバルヘビギンポ *Enneapterygius erythrosoma*  
【研究論文】業績番号 11

【発表した新分類群】



ウグイスヘビギンポ *Enneapterygius olivaceus*  
【研究論文】業績番号 16



テンテンヘビギンポ *Enneapterygius sericus*  
【研究論文】業績番号 17